

よそ40年ぶりの全面改築事業に立ち会わせていただくこととなり、やりがいとともに、責任の重さを痛感しております。

本年の末頃から、解体などの作業が始まる見込みのため、当庁では、今後、仮釈放者などの受入れを休止することを見据えて、全国の地方更生保護委員会や保護観察所、矯正施設への周知、調整を始めたところです。

千葉県婦性会が、新しく生まれ変わった姿で、再び地域社会の安全・安心に貢献できるよう、当庁としても微力を尽くしますので、引き続き、皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願いいたします。

特別寄稿

— 千葉県婦性会とともに —

貝塚第一町内会会長

(千葉県婦性会理事)

松崎 征一郎



評議員会に於いて千葉県婦性

会改築決定に基づき詳しいご説明を受け、理事として、また貝塚第一町内会会長兼防災会

会長として嬉しく、又緊張の中受け賜りました。

拝見した建築計画案の中に地域交流室（集

会室）を見つけ出したときは婦性会の姿勢、方向性を感じ、期待していたことではありましたが千葉県婦性会の小畑理事長はじめ役員の皆様が町会及び周辺地域に対してのご配慮、非常に有難く拝見しました。さっそく町会の役員会にも改築の決定を報告、町会会員全員にも伝わりますよう今年度の総会において詳しくその存在意義を含めて説明する予定です。これまでも地域との調和と共生、風通しの良い施設という千葉県婦性会のモットーの中に町内会会合の場を提供していただき、又地域交流として餅つき大会等の共同開催地、災害及び防犯の連絡所等々たくさんのご協力を頂いている事、これらの成果面も併せて報告したく思っています。

現在、貝塚町内会は1〜6組、及び7〜11組で構成されており、町会員の住居割合は比較的新しい居住者である7〜11組の方々が7割を占める状況で、大多数の方はいまだ十分に千葉県婦性会という更生保護施設の組織目的などを理解されている方々の方が少ないという状況であります。町内会の会長として、また理事としてきちんと説明し、一層の御理解ご協力をお願いしていくつもりです。

これまでも平成26年12月より貝塚第一町内会防災会を千葉市の指導の下で発足させて以来、千葉刑務所とも協議し、災害時最も大きな被害が予想される刑務所裏側にお住まいである7〜11組の方々にも呼びかけ、千葉県婦性会のご協力も頂き、防災訓練等も住民相互の協力下で促進してまいりました。

これまで長年にわたり千葉県婦性会を起点とする相互協力によって今日の貝塚第一町内会があります。これを実績とした長い経験を活かし、今後は新・旧の住民の方々とのパイプをより太く強固なものにすることになりました。防災会長を継続するとともに、新たな目標として新しい千葉県婦性会を中心とした地域住民全体が相互交流を一層深め、未来に向かつて共に歩んでいけるよう尽力するつもりであります。

かつて38年前、町内会の先輩諸氏が、同様の気概を持って千葉県婦性会の改築に真先にご協力したと聞き及んでおります。その意義をとともに受け継いで、今後の千葉県婦性会の運営にも町会全体一丸となつてご協力すべく努力いたしていくつもりであります。